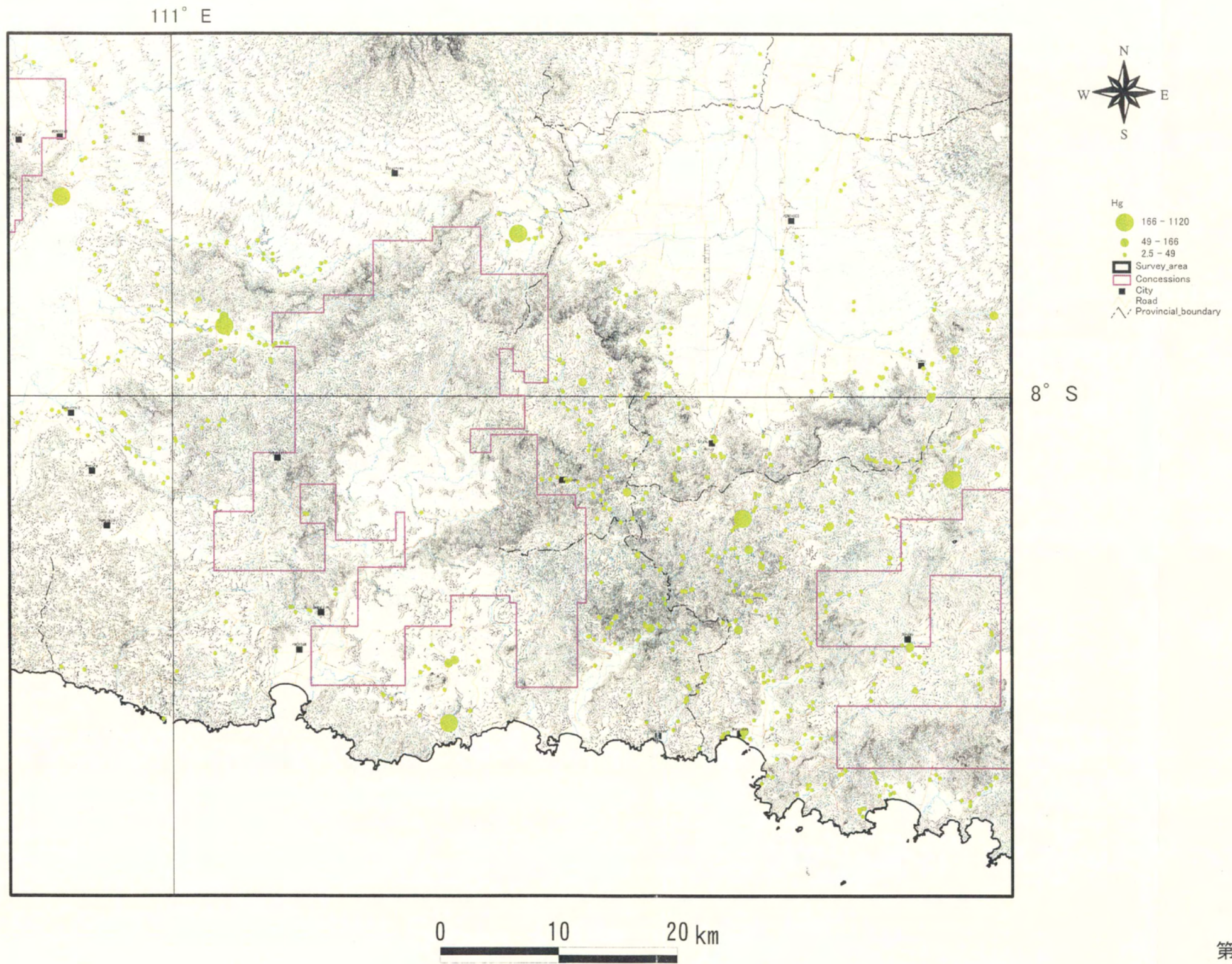


第2-31図 地化学探査試料分析結果(7): As



第2-32図 地化学探査試料分析結果(8): Hg

## 第Ⅲ部 結論及び提言

## 第Ⅲ部 結論及び提言

### 第1章 結論

東ジャワ地域における第1年次調査として、既存データ解析、衛星画像解析、及び地質調査・地化学探査を実施した結果、以下の結論が得られた。

#### (1) 地質調査・地化学探査の調査結果

第1年次の地質調査・地化学調査地域は調査地域全体のなかでもリニアメントの分布密度が高く NNW-SSE, NNE-SSW, NE-SW 及び NW-SE 系が卓越する地域である。地質調査・地化学調査地域において把握された金・銅・鉛・亜鉛の鉱徴地・地化学探査異常域は第三紀火山岩・火山砕屑岩類分布域に位置し、衛星画像解析で抽出されたリニアメント・褶曲構造に反映された広域的な地質構造に規制されて分布すると推定される。

これらの鉱徴地について、石英脈の分布とその品位、流体包有物の充填温度等、黄鉄鉱の鉱染、変質鉱物とその分布、地質構造との関係及び地化学探査結果を検討した結果、①Tegalombo-Slahung 付近の鉱徴域が金・銅鉱床の賦存ポテンシャルが最も高く、②Slahung 南方付近の地化探異常域、③Lorog 川付近の地化探異常域及び④Punung 東方の地化学異常域がこれに次いで鉱床の賦存ポテンシャルの高い地域と判断される。

本地域の石英脈にはしばしば、黄銅鉱、閃亜鉛鉱が認められるが、重金属の地化学異常は弱い。そのなかにあつて Tegalombo 鉱徴域は銅の異常も把握されており、金、銅の鉱床賦存ポテンシャルが高い。また、Punung 東方の地化学異常域では弱いながらモリブデン地化学異常があり興味を持たれる。

#### (2) 調査地域全体のポテンシャル

本年度の地質調査・地化学探査範囲の東西両側の調査地域には第三紀火山岩・火山砕屑岩類が分布しているが、本地域ほど広くは分布していない。また、既存資料による鉱徴地としてはマンガが多く、金・銀・銅・鉛・亜鉛の鉱徴地の数は少ない。したがって、調査地域のなかでも本年度の地質調査・地化学探査範囲が最も鉱床賦存ポテンシャルが高いと判断される。ただし、本年度把握された鉱徴(Pule 北方)の東方延長及び本年度地質調査・地化学探査地域内の既知鉱徴(Selogiri)の西方延長については鉱床賦存ポテンシャルを確認しておくべきと考える。

## 第2章 提言

第1年次調査の結果から、第2年次の調査として以下のとおり第1年次地質調査・地化学探査範囲の精査及び隣接地域の概査を効果的に実施し鉱床賦存ポテンシャルを評価し、ボーリング探査段階に進めるターゲットの抽出を図ることを提言する。なお、地化学異常域を迅速・効果的に抽出するため地化学探査においてはパンニングを有効に活用することを提言する。

(1) 第1年次地質調査・地化学探査範囲の東西両側の地質概査・地化学概査

- ①西側：第1年次地質調査・地化学探査範囲の隣接地域の北半部（面積：40km×25km）
- ②東側：第1年次地質調査・地化学探査範囲の隣接地域（面積：50km×20km）

(2) 第1年次地質調査・地化学探査範囲の有望な鉱徴地の精査

第1年次概査で抽出された鉱徴・地化学異常地区の地質・地化学精査を実施する。精査の面積は概ね以下のとおり計 250km<sup>2</sup>程度を目途に検討する。

- ① Tegalombo-Slahung の鉱徴・地化探異常域（面積：5km×12km）
- ② Lorog 川付近の鉱徴域(面積：6km×10km)
- ③ Punung 東方の地化学異常域(面積:5km×14km)
- ④ Slahung 南方の地化学異常域（面積：5km×12km）

(3) 上記①から④の精査で抽出した鉱床賦存ポテンシャルが高い地域が抽出された場合、IP 法電気探査(測線延長 10km 程度)を実施しボーリング・ターゲットを抽出する（物理探査：当該域に期待される浅熱水性の鉱床及びポーフィリー銅-鉛-亜鉛鉱床には黄鉄鉱の鉱染が期待されるため IP 法電気探査が適当と予想される）。

## 参 考 文 献

## 参 考 文 献

### 1. 图幅类

- (1) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Pacitan, Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (2) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Tulungagung Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (3) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Madiun Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (4) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Probolinggo, Jawa. 1:100,000.
- (5) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Kediri, Jawa. 1:100,000.
- (6) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Surakarta-Girtonro Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (7) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Lumajang Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (8) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Jember Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (9) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Malang Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (10) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Turen Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
- (11) Geological Research and Development Centre 1992, Geological Map of the Blitar Quadrangle, Jawa. 1:100,000.
  
- (12) DMR, 1994, Metallic Minerals Distribution Map of East Java Province. 1:500,000.
- (13) Geological Research and Development Centre 1998, Geological Map of Indonesia, Surabaya sheet. 1:1,000,000.

Baerber, A.J. and Wiryoajono (ed), 1979, The Geology and Tectonics of Eastern Indonesia. Proceedings of the CCOP-IOC SEATAR Working Group Meeting, Bandung, Indonesia. 415pp.

Baski,A.,Su,amgara,D.A., Sinambela, D.,1994, The Gunung Pongkor Gold Silver Deposit, West Java, Indonesia, J.of Geochemical Exploration, 50,p.371-391.

Clode,C.,Proffett,J.,Mitchell,P., and Munajat,I.,1999,Relationships of Intrusion, Wall-Rock Alteration and Mineralisation in the Batu Hijau Copper-Gold Porhyry Deposit, PACRIM'99,p.485-498.

岩波書店,1983,インドネシア地域のテクトニクス. 岩波講座地球科学 16「世界の地質」, 399-424.